

Trimble Geomatics Office™

リリースノート

- 製品情報



バージョン 1.61
改訂版 A
2003 年 6 月

本社

Trimble Navigation Limited
Geomatics & Engineering Division
5475 Kellenburger Road
Dayton, Ohio 45424-1099
U.S.A.
電話: +1-937-233-8921
ファックス: +1-937-233-9441
www.trimble.com

著作権と商標

© 2003, Trimble Navigation Limited. 版權所有

STL サポートに関しては、Moscow Center for SPARC Technology 改作の SGI Standard Template Library をソフトウェアは使用しています。© 1994 Hewlett-Packard Company, © 1996, 97 Silicon Graphics Computer Systems, Inc., © 1997 Moscow Center for SPARC Technology. このソフトウェアの一部は、カナダの女王陛下（天然資源担当大臣が代理）のライセンスの下で製作されました。

Trimble は、米国登録商標特許局に登録された Trimble Navigation Limited の登録商標です。

地球儀と三角形のロゴ、Roadlink、Trimble Geomatics Office、Trimble Survey Controller は Trimble Navigation Limited の商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

リリースノート

これは、2003年6月発行（改訂版 A）の *Trimble Geomatics Office* リリースノートです。Trimble Geomatics Office™ ソフトウェアのバージョン 1.61 に適用します。

ソフトウェアとファームウェアライセンス 有限保証

トリンブル社のソフトウェアと / またはファームウェア製品（以下、ソフトウェア）は使用ライセンスが発行されたのであって、売却されたものではありません。その使用は（存在する場合）ソフトウェアに含まれる該当最終消費者ライセンス契約（EULA）の条項によって支配されます。異なる有限保証条件や除外、制限を提示する別の EULA がソフトウェアに含まれている場合を除いては、以下の条件が適用されます。トリンブル社は、この Trimble ソフトウェア製品が配達日から数えて 90 日間はソフトウェアに対する、発行された仕様書に事実上一致することを保証します。

賠償保証

上記の保証の下でのトリンブル社の単一の責任とあなたの唯一の賠償については、トリンブル社が選択します。トリンブル社の商品返品に関する標準認定手順に従ってトリンブル社にその不良品が返還されてから、この保証に準拠しない製品やソフトウェア（以下、不良品）はすべて交換または修理されるか、またはそのような不良品に対して支払われた購入価格を払い戻します。

保証免責と拒否

こういった保証は以下の出来事において次のような範囲内でのみ適用されます。(i) 製品とソフトウェアはトリンブル社の該当するオペレーターマニュアルや仕様書に従って適切にかつ正しくインストール、設定、インターフェイス、保管、管理、操作されました。かつ (ii) 製品とソフトウェアは改造・誤用されませんでした。上記の保証は、次を原因とする保証違反のあらゆる申し立てには適用しません。かつトリンブル社はそれに責任を持ちません。(i) トリンブル社が製造、提供、指定したので

ない製品や情報、データ、システム、装置と一緒に、製品やソフトウェアを使用またはそれらを結合、(ii) その製品に対するトリンブル社の標準仕様書ではない仕様書の下での、または別の仕様書とそれを合わせての製品やソフトウェアの操作、(iii) 製品やソフトウェアの無認可の改造や使用、(iv) 事故や落雷、その他の放電、淡水または海水への投入や吹付けによって起きた破損、または (v) 消耗部品（例、電池）の通常の消耗。

上記の保証は、製品やソフトウェアの性能に関するトリンブル社の全責任、かつ、あなたの唯一の賠償を記しています。この文書内で明白に記されたのでなければ、製品やソフトウェア、それに付随する書類や付録をありのままの状態で供給され、Trimble Navigation Limited による、またはその製作や製造、インストール、流通に携わった人々による明示・黙示保証はどのような形式でも存在することはありません。これには特定目的や名称、非侵害に対する商品性や適合性の黙示保証が含まれますが、それだけに制限されるものではありません。上記の明示保証は、あらゆる製品やソフトウェアに関連する、またはそれから発生したトリンブル社が受け入れる責任や義務のすべてを代行します。州や司法権によっては黙示保証の除外や期間制限を許可しないために、上記の除外事項が適用しないこともあります。

Trimble Navigation Limited は、GPS 衛星の操作や操作の失敗、GPS 衛星信号の有効性に関しては責任を持ちません。

責任制限

ここでのある条項の下でのトリンブル社の全責任は、製品やソフトウェアに対して支払われた代金または 25,000 米ドルのどちらか大きい方を上限とします。適用される法に許される最大範囲までは、トリンブル社とその供給業者は、製品やソフトウェア、それに付随する書類や付録に何らかの形で関係する状況や法的論理下でのあらゆる間接、特別、付随的または結果的損害に対する責任を負いません。（これには、事業利益の損失や事業の中断、事業情報の損失、その他のあらゆる財政上の損失に対する損害が無制限で含まれます。）それは、トリンブル社がそのような損失の可能性を示唆したかどうかや、あなたとトリンブル社との間で進展中か進展した取引の経過に影響を受けることはありません。付随的または結果的損害に対する責任の制限や除外を許可しない州や司法権があるので、上記の除外事項はあなたに適用しないかもしれません。

製品情報

ここでは、バージョン 1.6 の発売以後、Trimble Geomatics Office™ ソフトウェアに加えられた変更に関して説明します。

ソフトウェアの更新をインストール

Trimble Geomatics Office ソフトウェアの更新 (バージョン 1.61) を利用するには、ご利用のコンピュータに Trimble Geomatics Office バージョン 1.6 が既にインストールされている必要があります。

下記のトリンブル社のウェブサイトからソフトウェアの更新をダウンロードできます。

http://www.trimble.com/geomaticsoffice_ts.asp?Nav=Collection-66.

この更新は、*Trimble Survey Controller™* バージョン 10.7 のソフトウェア CD にも含まれています。CD のメインメニューから、「オフィスソフトウェアの更新」を選択します。Trimble Geomatics Office のバージョン 1.6 が既にインストールされている場合にのみ、バージョン 1.61 への更新のインストールが開始します。

Trimble Geomatics Office の更新

Trimble Geomatics Office をバージョン 1.61 に更新するとき、下記のファイルがバックアップされます。

下記のファイルは「*.bak」という名前が変わります。

- Current.csd
- Antenna.ini (アンテナ)
- Receiver.ini (受信機)

下記のファイルは、**Program Files\Trimble\Trimble Geomatics Office\System\BackedUpBy161** フォルダにコピーされます。

- AsciiRpt.dat
- AsciiImp.dat
- AsciiExp.dat

Trimble Geomatics Office の以前のバージョンでカスタマイズした情報の使用方法に関しては、次のセクションを参照してください。

Trimble Geomatics Office バージョン 1.6 でカスタマイズした情報の使用方法

Trimble Geomatics Office バージョン 1.6 でカスタマイズした下記のファイルはバージョン 1.61 でも使用できます。

- *.frm – 平面図形式の定義
- *.fcl – 特徴・属性ライブラリ
- Current.csd – 現存する座標系とユーザー定義の座標系を含む座標系データベース（サイトと、測地系変換、楕円体、ジオイドモデルを含む）
- Symbol.sym – 記号ライブラリ
- Linetype.ltp – ラインタイプライブラリ

変更されるファイル

下記のファイルは、Trimble Geomatics Office バージョン 1.61 で更新されます。

- ASCIIrpt.dat – レポートフォーマットファイル
- ASCIIimp.dat – ASCII インポート定義ファイル
- ASCIIexp.dat – ASCII エクスポート定義ファイル

バージョン 1.6 の ASCIIrpt.dat、ASCIIimp.dat、ASCIIexp.dat ファイルはバージョン 1.61 では使用できないかもしれません。しかしその中で定義されているフォーマットのいくつかは Trimble Geomatics Office 1.61 と互換性がある可能性があります。

バージョン 1.6 の ASCIIimp.dat フォーマットをバージョン 1.61 で使用するには、

1. ファイル / インポート を選択します。インポート ダイアログが現れます。

2. カスタムタブで、新しいフォーマットを選択します。ASCII インポートフォーマット定義ダイアログが現れます。
3. バージョン 1.6 の ASCIIimp.dat ファイルをテキストエディタを使用して開きます。
4. 適切なファイルフォーマットを Trimble Geomatics Office の ASCII インポートフォーマット定義ダイアログにコピーします。(Format Body セクション)
5. カスタムフォーマットが参照するフィールドコードが Trimble Geomatics Office データベースに存在しない場合には、右クリックしてショートカットメニューにアクセスしてから、適切なフィールドを選択します。
6. **OK** をクリックします。

これで Trimble Geomatics Office 1.61 の ASCIIimp.dat ファイル内でカスタムフォーマットが定義されました。

バージョン 1.6 の ASCIIrpt.dat (カスタムレポート) と ASCIIexp.dat (カスタムエクスポート) フォーマットをバージョン 1.61 で使用できるようにするには、上と同じ手順を繰り返します。

C

警告 — ソフトウェアをバージョン 1.61 に更新した後、バージョン 1.60 の ASCIIimp.dat、ASCIIrpt.dat、ASCIIexp.dat ファイルを Trimble Geomatics Office のシステムディレクトリに直接コピーしないでください。

それを行うと、

- Trimble Geomatics Office バージョン 1.61 のカスタムフォーマットを上書きしてしまいます。
 - ソフトウェアはカスタムフォーマットを正しいタブに書き込まなくなります。
 - データベーステーブルとコラム構成が異なるためにカスタムフォーマットが作用しなくなることがあります。
 - Trimble Geomatics Office のインストールに含まれていた新しい、または改善されたカスタムフォーマットを失う可能性があります。
-

Autodesk の横断面を RoadLink で使用するためにエクスポート

道路定義が Trimble RoadLink™ ソフトウェアで精確に提示されることを確実にするためには、重要なステーションでの横断面を更に数多くエクスポートする必要があります。

追加の横断面を指定するには、

1. **Cross Sections (横断面)/ Existing Ground - Sample From Surface (現存する地表 - 面からのサンプル)** を選択します。
2. **Section Sampling Settings (セクションサンプル設定) ダイアログ** で **Add specific stations (指定ステーションの追加)** を選択します。

メモ - **Projects (プロジェクト)/ Edit Drawing Settings option (図面設定の編集)** オプションで「**Section Sampling Settings (セクションサンプル設定)**」を設定した場合には、**Cross Sections (横断面)/ Existing Ground - Sample From Surface (現存する地表 - 面からのサンプル)** オプションから横断面を再生成する必要があります。

投影グリッドとシフトグリッドサポート

Trimble Geomatics Office バージョン 1.61 は、現在マレーシアの Cassini State Plane 座標系が使用する投影グリッドをサポートします。

バージョン 1.61 は現在 Royal Dutch (RD) Stereographic (オランダ平射) 座標系が使用するシフトグリッドもサポートします。

Trimble Survey Controller バージョン 10.7 も投影グリッドとシフトグリッドをサポートします。Trimble Data Transfer (データ転送) ユーティリティを使用すると、Trimble Survey Controller バージョン 10.7 ソフトウェアを実行する Trimble コントローラと Trimble Geomatics Office バージョン 1.61 との間で投影グリッドとシフトグリッドを転送できます。

メモー Trimble Geomatics Office 1.6 を使用して座標系内で定義された投影グリッドとシフトグリッドをジョブが含む場合には Trimble Geomatics Office バージョン 1.61 でそのジョブを開くことはできません。

SDR33 ファイルのエクスポートを改善

US フィートまたは国際フィートを使用して Trimble Geomatics Office 1.61 から SDR33 ファイルをエクスポートするとき、エクスポートされるファイルに正しい単位が書き込まれるようになりました。

DXF ファイルのサポートを改善

背景マップとしての DXF ファイルの使用や、Trimble Geomatics Office プロジェクトへの DXF ファイルのインポートに対して改善が加えられました。

カナダのジオイドモデル

カナダのジオイドモデル HT2_0 を Trimble Geomatics Office で使用できるようになりました。下記の Trimble のウェブサイトからファイルをダウンロードできます。

http://www.trimble.com/geomaticsoffice_ts.asp?Nav=Collection-71.

HT2_0.byn ファイルを、そこで必要な .ggf フォーマットに変換する方法に関しては、*readme.txt* ファイルを参照してください。

ファイルは、*Trimble Survey Controller* バージョン 10.7 のソフトウェア CD の ¥Trimble Geomatics Office¥Additional files フォルダにも含まれています。

